

< 経験を活かす (=意識と行動の向上) >

様々な事を経験しても、それが活かされないと意味はありません。

行動をルーティン化するのが得意なみんなです。ただ一度、ルーティン化してしまうと、話(指示)半分となつてしまい、自分本意な行動になってしまう場合があります。(=応用がきかない) これを何とか回避したい!

なので、ルーティン化して欲しくない (決めつけしないで、話をしっかり聞いて行動をする) ような事に関しては、色んな形を取り工夫をしています。

例えば、

- 指示→「作業用の靴に変えてえ」
- ルーティン化した判断→「唐瀬通りのトラヤに行き車を待つ」>

今まではこれで正解でした

- 指示→「作業用の靴に変えて、〇〇に行つて帰つて来よう」
- 経験を活かした判断→「〇〇に行きスイッチに戻つてくる」

この部分を聞き取らずに行動してしまいます。

Ex: りんご=あかと決めつけて判断。
(きいろも黄緑もあるじゃん)
最後までしっかり聞こう!
という感じです。

スイッチメンバーであれば、指示プラス目的地カードがあれば確実なのは分かっています! ただここでも、カードを渡すことで「指示を聞き取る事(意識)や指示の内容を考える(思考力)」を鍛えたいので、敢えて渡さないのが、スイッチのやり方です☆

多くの事を経験しているので、それらをしっかり活かせる力にしていきましょう!

< 集中力向上トレーニング >



正確な行動をするには、「集中力にある」といっても過言ではないと思います☆
言葉の理解力というのも勿論関わってきますが、まずは「集中して物事に取り組める気持ちと行動」が、どんな力を付けるにも重要なポイントだと思います。

例えば、言葉の理解が出来ない

→ 見たり、一緒に行動することで作業や行動は出来るようになります。

観察する。同じことをする。=「集中力!」



中学2年生以上になると、学校でも作業が増え、「集中して何かをやることに慣れてきます」。特性や性格は勿論、考慮しつつスイッチではまずは集中できる状況を改めて整えました。

イヤーマフ(耳からの情報)、小部屋(視覚の情報)のシャットアウトです。

この2つをシャットアウトするのはやっぱり重要です。

もう一つ、「背もたれの無い椅子は姿勢の確保」です。「姿勢」は、頭の回転には大切な事です。→これらの状況で作業することに慣れる! ことです。

また、聞き取りに関しては「敢えて小さい声でしゃべる」と聞く耳を立てます!

これは、その日の状況などで集中力がない子や、聞き取りが苦手な子に効果あります

